



仕事と生活が融合する働き方 一級建築士と共同経営をするケアマネジャー

ワーク・アズ・ライフ

藤嶋孝信さん / 36歳

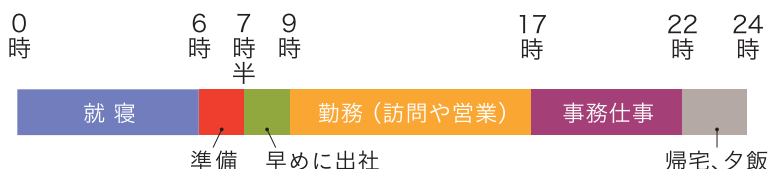
株式会社 C&H コネクト co.

取締役・主任介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉士

キャリア

19歳	特別養護老人ホームで働き始める
24歳	ケアマネジャーの資格取得
25歳	ケアマネジャーとして働き始める
33歳	のちに共同経営者となる建築士と出会う
35歳	起業し、取締役となる

ある日の1日



POINT

- 自宅で暮らす高齢者をサポートしたいとケアマネジャーになる
- 一級建築士と共同で会社を立ち上げる
- 起業したことで、自分のスタイルに合った仕事や生活ができるようになった

！ 福祉の仕事を始める前は何をしていた？

— 福祉の道、一筋

18歳の頃から介護の世界にいます。高校は介護福祉科に進学しましたが、最初から介護の仕事がしたかったわけではないんです。身内に介護が必要な人がいて、家にも介護士の方が来ていたので、とりあえず受験してみた、というくらいの意識でした。でも、学んでみると面白くて、他の教科は点数が低くても、介護の成績だけは良かったんです。卒業後は特別養護老人ホームで働きだしました。

ルーティンワークが得意ではなかったこともあり、毎日同じサービスを提供していくことに疑問を感じ始めました。それで、ケアマネジャーの資格を取って、25歳から自宅での暮らしをサポートする居宅介護支援事業所のケアマネジャーになりました。

— ケアマネジャーのおもしろさ

いろんな人の人生に触れることが面白いです。自分だったら話しにくいな、と思うことを話してくれた時、「期待に応えなくては!」という気持ちになります。その期待に応えられたと感じた時は、楽しさを感じます。

ただ、5年ほどケアマネジャーを続けるうちに、「ここまで調整できればいいだろう」と考えていることに気づき、自分が型にはまっていると思ったんです。このままではいけないと思い、いろんなことを自分で学んでいくようになりました。その中の一つが住環境のことで、住環境さえ整えば、利用者さんが自分でできることも増えるんじゃないかと考えたからです。

! どんなキャリアを歩んできたの？

— 35歳で、共同経営者として会社を立ち上げる

住環境の勉強をしている時に、共同経営者となる一級建築士の方と知り合いました。話を聞くと、介護のリフォーム案件が増え、お客様には満足してもらえらるが、本当にこれでよいのか不安で、介護の勉強をされていたようです。そこで、一緒に組めばもっと出来ることがあるんじゃないかと考え、2019年8月に共同で会社を立ち上げました。

共同経営は自分に合っていると思います。自分の会社であれば即決できる良さもありますが、自分一人だとだらけてしまいそうな気もしていたので。なので、案外あっさりと決断しましたね(笑)

会社を立ち上げて悩んだのは、介護業界と建築業界で、共通言語がほとんどなかったことです。毎日ケンカをしながらでもとことん議論しあって、いまやっと少しずつ形になってきたところです。「利用者の思いを軸にすること」を中心に置き、それぞれの強みを活かすことを大事にしています。



! 仕事以外はどんな生活をしている？



— 仕事とプライベートを分けずに、シームレスに働く

仕事以外は何もしていません(笑) ある意味、経営者として労働基準も関係なくなったので、仕事をしていることが多いです。もともと知識欲が強いせいか、勉強が苦ではありません。仕事の時間と学びの時間がつながっている自分のスタイルには、この生活が合っていますね。

最近、宗教のことを学んでいます。宗教観は人それぞれですが、宗教観が人生観だったりする人もいると思うんです。もっと「ひととなり」を察してあげられるようになりたいと思ったところから、勉強するようになりました。

今後は会社の垣根を越えて、仕事のある一部分だけを追求していきたいマニアックな人達を集めて、何か事業を展開したいと思っています。

取材を終えて

好きなことにはのめり込むタイプだと話される藤嶋さん。

仕事と学び、そして生活がつながっているライフスタイルは、新しい働き方の一つであると感じました。